

## 第2ステージ「挑戦」6月

- 6/1 大きな学年行事も終わり中間地点を過ぎた。中体連まで一ヶ月。学習、部活にじっくり取り組む月。中体連での有終の美への月。進路の礎を築く月である。
- 6/2 プログラム委員の中から、学校生活を見直す意見が出る。全体にうまく伝えるために、どう取り上げたらよいか、生徒が学ぶ場を作りたい。
- 6/3 公立高校説明会である。進路指導のスタートである。この会を開くためにたくさんの方に支えていただいている。大切にしていきたい。
- 6/6 先週より体調を崩して早退する生徒が多く気になる。季節の変わり目、4月から頑張ったことを自信にして乗り越えてほしい。
- 6/7 梅雨入りしたもののたいした雨もなく割に快適である。しかし、欠席者が多いこと、けがによる松葉杖が多いことは残念である。
- 6/8 いつもの下校は良好だが、水曜日は少々気が緩んでいる。早く下校することの必要性、公的な場所でのあり方を考える機会として指導していきたい。
- 6/9 私立高校説明会。3年生は本格的に進路を意識し始める。1年生にも早いうちから意識を持てるように声かけをしたい。
- 6/10 運用日課が多く慌ただしい。生徒からも「昼休みがないですか」と聞かれる。できるだけ平常どおり行い、落ち着きを取り戻したい。
- 6/13 雨の月曜日は落ち着きのなさが目立つ。作業は、集中して行わないと、仕上がりのいい加減になり、怪我の元になる。学習に向かう姿勢を整えたい。
- 6/14 一年生に体調不良者が増えて気になっている。対人、勉強、集団、家庭…ストレスが多い時代、コミュニケーションをとり、不安を取り除いていきたい。
- 6/15 二人の若い先生が授業を行い、よりよい授業について教員研修を行った。みんな考え、知恵を出し合うことで、どの子にもわかる授業をめざしたい。
- 6/16 生徒指導に関わる事案があった。もっとうまく連携をしていれば生徒をうまく

く指導できたかもしれない。叱り方の難しさを感じた。

6/17 落ち着きのない生徒、提出物が出せない生徒など、心配な生徒がいる。でも学年帰りの会では、気の緩みについて真剣に話を聴けたと思う。

6/20 この6月に入り生活の乱れが多く、心が砕かれそうになる。でも「教育は根くらべ」この言葉を忘れず、最後まで生徒を信じていきたい。

6/21 じめじめした梅雨。しかもテスト前の今日は、全体的に落ち着きがなく注意することが多かった。こういうときこそ、冷静になって適切な指導が必要である。

6/22 中体連組み合わせ抽選会で対戦相手が決まった。強豪との組み合わせもあるが、あと20日あまり、悔いの無い練習をさせたい。

6/23 登校時の豪雨は凄まじかった。雨上がり後は、今度は蒸し暑さと小バエの増殖。劣悪の環境である。そんな中での参観日、来校した保護者に感謝。

6/24 期末テスト実施。中体連の練習とも重なり、どうだったのだろう。放課後、雨の中でも続ける部が多かった。体調を崩さず頑張ってもらいたい。

6/27 もうすぐ激励会。1、2年生の熱い応援に、3年生の本気で向かう姿勢を伝えられるかが勝負である。パフォーマンスだけでなく感動を引き渡せる会にしたい。

6/28 中体連が近づいている。しかし、雨…けが人も多いので、うまく休養をさせながら、気合いを入れて練習させたいと思っている。

6/29 中体連が近づきなんとなく落ち着かないのは「最後の夏」にかける思いが強いのだろう。自分も何かしてあげたいとそわそわしている。

6/30 あと10日。モチベーションを高め、けが無く、万全の体調・心理状態で中体連へ！！並行して、3年生は進路に向けて意識を持たせ、夏の準備をさせたい。